

秋田大学×秋田県立大学×秋田工業高等専門学校×秋田魁新報社

あきたキッズ
プログラミングアワード
プログラミング
オンラインスクール

本スクールは、プログラミング学習ツールScratchスクラッチを使った全10回のオンライン講座です。
教材はすべてオリジナル。初心者でも楽しくプログラミングを学べる内容です。
これまで10回にわたり、教材著作者の廣田千明(ひろたあき)氏による教材の解説を連載してきました。最終回は、同氏が考える「教材を活用した新しい学び」を掲載します。

最終回
「これからの教育にむけて」

これまでスクールの教材について紹介してきましたが、締めくくりとしてこれからの教育がどう発展していくのか、私の期待も込めてお伝えします。

学びのアップデート

人工知能(AI)が急速に発展し、社会が大きく変化しています。AIが人間の仕事を奪うという話も、ここ数年で現実味を帯びてきました。ただし、このようなことは過去にもありました。第一次産業革命が起こった時、それまで人が手作業で行っていた仕事が機械での作業に置き換わってなくなり、その代わりに機械を設計したりメンテナンスしたりする仕事が生まりました。新しい仕事に就くためには、新しい仕事に必要なことを学ぶ必要があります。学ぶ内容をアップデートすることになりました。

プログラミングを活用して明るい未来を

現代社会は、航空機や自動車から電気ポットや音楽プレーヤーに至るまで、何にでもコンピューターが入っており、コンピューターがなければ成り立たない社会となっています。このような社会で働いていくには、コンピューターを自由自在に使いこなせる能力が必要です。さらに、さまざまな分野でAIが活用されていることから、AIを使いこなす能力も必要になります。コンピューターを自由自在に使いこなすためにも、AIを使いこなすためにも、プログラミングの能力が必要になります。

知識の修得から活用へ

新しくしなければならぬのは内容だけではなく、学び方も新しくする必要があります。これまでの学校教育は知識の修得に重きを置く傾向にあったと感じます。しかしながら、知識があってもそれを活用する力がなければ世の中を良くしていくことはできません。国語や算数などの教科の学びをどのように活用すればより良い社会を構築できるのか



スクール教材の著作者
秋田県立大学 システム
科学技術学部 廣田千明
准教授(秋田県立大学)
プログラミング教育研究会
会長

Scratchは、MITメディア・ラボのライフロング・キンダーガーテングループの協力により、Scratch財団が進めているプロジェクトです。 <https://scratch.mit.edu> から自由に入手できます。

主催 秋田魁新報社

【共催】秋田大学／秋田県立大学／秋田工業高等専門学校
【運営協力】秋田コア ビジネスカレッジ／アイネックス
【後援】秋田県／秋田県教育委員会／(一社)秋田県情報産業協会／(一社)共同通信社
／(株)共同通信社／経済産業省／文部科学省／デジタル庁
【企画協力】秋田県子どもプログラミング教育研究会 会長 廣田千明(秋田県立大学 准教授)

【お問い合わせ事務局】
あきたキッズ プログラミングアワード実行委員会
秋田魁新報社 営業局 (秋田市山王臨海町1-1)
TEL.018-888-1862
平日 9:00~17:00

あきたキッズプログラミングアワードとは、県内の小中学生を対象にしたプログラミングコンテスト。秋田の未来を担う人材の育成と、プログラミング教育の裾野の拡大を目的に、2019年から開催。秋田魁新報社が、県内の高等教育機関、民間企業と連携し、主催している。

受講申込受付中
対象:秋田県内の小・中学生
入門編全10回
受講料 無料

お申し込みは公式サイトから
<https://akpa.jp/online-school>
あきたキッズプログラミングアワード Q

秋田魁新報 3月26日(日)掲載 全3段カラー